

第 16 回「I 氏賞」受賞者決定に係る選考委員長のコメント

【全体講評】

平面・立体のいずれのジャンルにおいても、芸術の自由な広がりが感じられ、表現が多様化している。全体として完成度の高い作品が出揃い、それぞれに制作意識や手法が異なるため、比較が難しく選考に時間を要した。作品をいかに見せるか、鑑賞者とのつながりや共感を考慮した芸術表現のますますの発展を望みたい。

大 賞

蓮岡 匡浩（平面：絵画）

【コメント】

絵画としての表現力と洗練されたデザイン感覚を備えた対作品は、独特の存在感を放つ。さまざまな要素をコラージュした、部分の描き込みも魅力的である。ジャンルにとらわれない絵画表現のさらなる展開が期待できる。

奨励賞

中桐 聡美（平面：版画）

【コメント】

瀬戸内海をモチーフに、シルクスクリーンで刷り出した画面を削り、強さと厚みのある表現を追求している。版画の可能性を探る表現のますますの発展に期待する。

文谷 有佳里（平面：絵画）

【コメント】

音楽的な発想を背景に、完成度の高い表現を確立している。魅力的な線描によるリズムとハーモニーを備えた造形表現のさらなる展開を期待したい。